

おおだて 病院だより 第30号

市立総合病院・市立扇田病院

おおだて病院だよりは、
市民・患者さんと
市立総合病院・市立扇田病院を
つなく広報誌です

2020.4

No. 30

発行者：大館市病院事業管理者 佐々木睦男
編集：大館市立総合病院 広報委員会
住所：大館市豊町3-1（総合）
大館市比内町扇田字本道端7-1（扇田）
電話：0186-42-5370（総合） 0186-55-1255（扇田）
URL：<http://www.odate-hp.odate.akita.jp>（総合）
<http://www.oogita-hp.jp>（扇田）



この春、8人の研修医が巣立ちます

総合病院での2年間の研修を修了しました。今後はそれぞれの専門分野へと進んでいきます。研修にご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。



市立総合病院 院長
よし ほん しゅう いち
吉 原 秀 一

暖冬で始まった令和2年ですが、その影響もあり早い春の訪れとなりました。昨年度末は新型コロナウイルス感染症の嵐が吹き荒れ、現在もその余波が続いており早い収束を願うばかりです。さて、総合病院では今年8名の研修医が当院での研修を修了しそれぞれの専門分野に巣立って行きます。皆さんの活躍を祈るとともに、再度たくましくなった皆さんと当地域とともに医療ができることを夢見ております。また、7名の研修医を当院に迎えることとなりました。教育機関としての当院の役割を存分に發揮して、厳しく着実にそして楽しく医師としての素養を高めていただければと思います。それには市民の皆さんのご協力が不可欠ですのでよろしくお願いいたします。

近年の地域医療構想において当院の立ち位置は秋田県北地域の中核病院として、すべての医療機能を担うことが期待されています。その実現のため今年度から地域救命救急センターの整備が始まります。多くの困難が予想されますが市民の皆さんと協力して実現させていきたいと思えます。今年度も地域の医療充実に職員ともども頑張つてまいりますので、これからも市民の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。



市立扇田病院 院長
おお もと なお き
大 本 直 樹

記憶にないほど小雪だった冬が終わりを告げ、令和2年度がスタートしました。前号でも触れましたが、当院は昨年9月に厚生労働省から「再検証対象医療機関」として病院名を公表されました。しかし、この思いがけないカンフル剤が地域での議論を高めることとなり、令和元年12月議会では市長より当院の存続が明言されました。救急や急性期医療を担う大館市立総合病院に対し、当院は一次医療、回復期医療、在宅医療などを期待されると認識しております。それに向けて昨年11月には「在宅療養支援病院」の認定を受け、現在「地域包括ケア病床」の導入を検討しているところです。

さて、例年この時期に人事異動がありますが、県からの派遣で頑張っていた長井先生、佐藤先生が3月末で退職し、4月から以前にも当院に在職した金先生と臨床研修を修了した小笠原先生が赴任いたしました。金先生は当院を離れた後、秋田厚生医療センターなどで専門研修を積み家庭医療専門医を取得、後進を指導する立場となつての復職です。一方の小笠原先生は二ツ井出身、大館鳳鳴高校から自治医大を卒業した循環器内科医を目指す期待の若手医師です。昨年9月に赴任し、主在宅医療を担当する大館市出身の平泉先生も残留し、医師6人体制で診療に当たります。プロ野球チームと同様、毎年少しずつチームカラーが変わりますが、基本理念は変わらず「地域の皆様の心の支えとなる病院」を目指して職員一丸となり取り組んでまいります。

眼科外来からのお知らせ

眼科外来では令和2年4月から常勤医師が不在となり、以下のとおりの診療体制となりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

- 外来診療** 非常勤医師で対応します。
月・火・水・金曜日は医師1名、木曜日は医師2名で診察します。
- 受付時間** 新患は9時30分まで、再来は11時までの受付となります。
- 新患受付** 原則として紹介状が必要です。事前に患者サポートセンターでの予約が必要です。
火曜日は新患の診察を休診とします。
- その他** 現在、白内障手術の受け入れを休止しております。再開等については、あたたためてお知らせします。

病状説明は、勤務時間内に行っています。



医師の働き方改革の取り組みとして、入院患者さんやそのご家族への病状説明は、緊急時を除き、平日の午前8時30分から午後5時15分までに行っておりますので、皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

電話の通話録音へのご協力のお願い

総合病院では、令和2年4月1日からサービス向上のため、電話の通話を一部録音させていただきますので、ご利用する皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

患者サポートセンター 開設のお知らせ

住み慣れた地域で安心して暮らせますよう
切れ目のない療養のお手伝いをします

令和2年4月から、総合病院に「患者サポートセンター」を開設しました。

少子・高齢化の急激な進行で医療・介護の領域における機能分化と連携が求められる中、入院する前から退院した後まで切れ目のない療養の支援を行うため、相談支援センターと地域連携室を統合して開設したものです。

入退院をより円滑に進めるとともに、福祉・介護サービスなど様々な社会資源としっかり連携することにより、引き続き地域の皆さんの支援をしていきます。

《担当する主な業務》

【地域連携分野】

- 紹介受診の受入れ支援
- 医療機関・介護機関との情報連携及びツール開発
- 地域連携パスの運用
- セカンドオピニオン相談
- あきたハートフルネットの利用窓口
- レスパイト入院窓口

【医療相談分野】

- 医療相談窓口
- がん相談支援センター
- 医療安全に関する相談
- 妊婦や子どもの相談窓口
- ご意見・ご要望の窓口
- 医療対話仲介窓口
- 就労相談

【入退院支援分野】

- 入院前から退院後までの総合的な支援
- 転院に関する相談支援
- 退院後の療養に関する相談支援
- 入院から退院までの多職種連携コーディネーター

「相談室はそのまま」

従来の相談支援センターは、「患者サポートセンター相談室」として、引き続き患者さん・ご家族からのご相談をお受けするとともに、入退院の際の支援窓口としても運用することになります。



「患者さんの声」より

総合病院に寄せられたご意見を紹介していきます。

外来、特に内科の待ち時間が長い

外来の待ち時間が長すぎます。特に内科が長いです。時には4時間待ちになるときもあります。患者さんが多い状況はわかりますが、改善できませんか。



病院から

総合病院では、待ち時間対策として様々な対策を実行・若しくは検討中です。待ち時間が長い最大の要因は、当院の医師数に対し外来患者さんが多いことです。この対策として比較的症状が安定している患者さんには、地域の医療機関（診療所・クリニックなど）と連携し役割分担を進めており、「糖尿病地域連携パス」や「循環器連携パス」など、「二人主治医制」による支援も実施しています。次に重要な課題が予約制の効果的な実施と待ち時間表示の改善です。予約制はすでにほとんどの科で導入されていますが、診療科の特性に応じ予約方法に差があることや、待ち時間表示がわかりにくいなどの問題があることから、令和3年度のシステム更新に合わせ、予約制と待ち時間表示の改善を検討しています。

外来の呼び出しを番号制に変えて欲しい

外来や会計で、氏名で呼び出しを受けている。中央の病院では番号が当たり前。プライバシー確保のため番号での呼び出しに変えてほしい。



病院から

外来や会計において、患者さんの呼び出しは「お名前」で行って参りましたが、番号制の導入のためには電子カルテシステム等の改修が伴うため、令和3年度に予定されている次期のシステム更新において検討を予定しております。

放射線治療は素晴らしい

総合病院には素晴らしい放射線治療の機器（ライナック）があり、「がんは怖くない!」と感じました。身近にあるがん拠点病院としてPRしてほしい。従事している技師、看護師の指導もわかりやすい。



病院から

この度は、お褒めのお言葉ありがとうございます。早速スタッフにはこのようなお言葉をいただいたことを伝えました。当院は国が指定する「地域がん診療連携拠点病院」として機能の充実、スタッフの育成・養成に力を注いでおります。引き続き地域の皆様のご期待に添えるよう、努めて参ります。

薬の副作用に関する説明が不十分

医師から薬を処方されたが、処方にあたり「副作用」の説明がなかった。自分で調べると、多くの副作用がでる可能性が指摘されていた。医師は副作用の可能性について全て説明すべきではないか。



病院から

薬の副作用とは、例えば、下痢、便秘、眠気など、薬による望ましくない作用のことです。薬を使用した場合、必ず副作用が起こるわけではありませんが、時にその副作用が症状悪化に繋がる場合があり、医師は重篤な副作用が想定される場合には必ず説明しております。

一方で、保険薬が承認されるまでに得られる臨床データは限られており、市販された後で初めて報告される副作用も多く存在するなど、想定される全ての副作用について処方時点で説明することは困難であることもご理解いただきますようお願いいたします。また、薬の詳しい情報をご希望の場合は、かかりつけ薬局などの薬剤師に相談してみるのも一つの方法です。

なお、薬の使用中に気になる症状が現れた場合は医師や薬剤師にご相談くださるよう、お願いいたします。

ご意見をいただきありがとうございました。

紹介 します

褥瘡^{じょくそう}チーム

褥瘡回診風景



「褥瘡」とは「床ずれ」のことです。病気やケガで体の向きを変えることができず、同じ部位に一定以上の圧力が持続的に加わることで皮膚に障害を起こしている状態です。近年、入院患者さんの高齢化が進み褥瘡発生リスクは高くなっています。そのため、入院時からリスク評価を行い、患者さん一人ひとりに合わせた適切な褥瘡予防ケアを実施していくことが重要です。

総合病院の褥瘡チームは専任医師、薬剤師、理学療法士、管理栄養

士、皮膚・排泄ケア認定看護師、専任看護師などの多職種で構成され、各病棟の褥瘡リクナーズや栄養サポートチームと連携し、情報共有しながら褥瘡予防ケアの質の向上を目指しています。



消防訓練を実施しました

令和2年2月20日に総合病院で消防訓練を実施しました。「深夜勤務時間帯に、9病棟デイルームの電子レンジから火災が発生する」という想定のもと、出火元9病棟で屋内消火栓を操作した消火活動及び模擬患者の避難誘導を実施しました。

今回の訓練では、これまでのように詳細なシナリオを作成せず、各部署で作成しているアクションカードに基づいた対応により、実際の火災発生において対応ができるかを検証しました。

総合病院では定期的に消防訓練を行い、職員の防災意識を高めるとともに、災害発生時に迅速に対応できるよう努めています。



避難責任者から指示を仰ぐ様子

総合病院 令和2年度

「転倒予防教室」 のお知らせ



開催日 6月11日(木)
9月17日(木)
12月10日(木)

時間 11時～(45分程度)

場所 総合病院 正面玄関ホール

内 容

1. 理学療法士による転倒予防体操・正しい杖の使い方
2. 管理栄養士による骨粗しょう症予防の食事
3. 看護師による転倒予防の工夫 など

扇田病院です!

理念 地域の皆様の「心の支えとなる病院」をめざします。

地域に根差した 医療活動を展開しています

扇田病院では、「地域の皆様の『心の支えとなる病院』をめざします」という理念の下、多様な医療サービスや地域で行われている医療介護サービスをつなぐ要として、地域連携室、医療相談室を設けております。

地域連携室では、①病棟への入院患者の受入れ、②オープンベッドの受付、③訪問診療、訪問看護の受付及び訪問の調整、④在宅療養や介護サービス利用でのケアマネジャー等との連絡調整などを行っています。

特に③については、訪問看護のあり方について、平成29年8月に実施したアンケートの結果に基づいて、訪問看護師への直接連絡や休日・夜間の訪問の実施などの改善を行いました。

また、医療相談室では、入院・外来を問わず、さまざま問題や心配ごとの相談を受けております。医療費の不安、退院後利用できる福祉サービスや福祉施設の利用などについて、専門の相談員（退院支援看護師、社会福祉士）が、関係機関との調整を図り、安心して療養生活を送れるよう、患者さんやご家族の不安解消に努めております（秘密は厳守いたします。）。

どうぞ、お気軽にご利用ください。



どうぞよろしくお願いいたします

健診担当からのお知らせ

令和2年4月1日から、次のとおり変更しております。

1泊2日ドック

大腸内視鏡検査をオプションから除外しました。人間ドック以外で希望される場合には、健診担当までご相談ください。

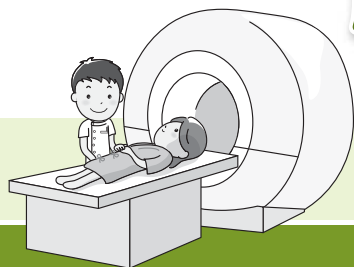
肺がんCT検診 簡易脳ドック

随時受付中です (次のとおり、料金を改定しました。)

早期発見に有効な『肺がんCT検診』…8,800円 (税込)

『簡易脳ドック』…23,100円 (税込)

お問合せとご予約は、健診担当まで ☎55-1255



外来診療のご案内

急患対応や手術などのため、休診や受付時間を変更する場合があります。

～総合病院～

受付時間	新患 午前 8:30～11:00	再来 午前 7:30～11:00
-------------	-------------------------	-------------------------

特段の記載がない場合は、上記の受付時間になります。

科名	曜日	月	火	水	木	金	備考		
呼吸器・循環器内科	呼吸器	受診の際はお問い合わせください					新患は原則として紹介状が必要です。現在、呼吸器内科では外来患者の受付を制限しています。受診の際はあらかじめお問い合わせください。		
	循環器	新患	予約のみ	予約のみ	休診	予約のみ		予約のみ	
		再来							
消化器・血液・腫瘍内科							新患は原則として紹介状が必要です。		
内分泌・代謝神経内科	新患	10:30まで	甲状腺外来	10:30まで	10:30まで	甲状腺外来	10:00まで	10:00まで	新患は原則として紹介状が必要です。神経内科、甲状腺外来は事前予約が必要です。
	再来								
小児科									
神経精神科	新患	予約のみ	予約のみ	休診	休診	休診	新患は原則として紹介状が必要です。		
	再来								
外科									
呼吸器外科	新患	予約のみ	10:00まで	予約のみ	予約のみ	10:00まで			
	再来								
産婦人科									
眼科	新患	9:30まで	休診	9:30まで	9:30まで	9:30まで	新患は原則として紹介状が必要です。		
	再来								
耳鼻咽喉科									
整形外科	新患	10:00まで	休診	10:00まで	10:00まで	10:00まで	10:00まで	新患は原則として紹介状が必要です。専門外来は予約制。	
	再来		10:00まで						
泌尿器科	新患	休診	休診	予約のみ		休診	新患は原則として紹介状が必要です。		
	再来	予約のみ							
皮膚科		10:00まで	10:00まで	休診	10:00まで	10:00まで			
脳神経外科	新患	10:30まで					新患は紹介状及び事前予約が必要です。		
	再来								
放射線科		予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ	新患は紹介状が必要です。		
歯科口腔外科・矯正歯科	新患						新患は紹介状及び事前予約が必要です。再来は予約制。		
	再来	予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ			

上記の表は3月中旬の情報をもとに作成していますが、診療体制の変更に伴い受付時間などが変更となる場合がありますのであらかじめご了承願います。また、変更があった場合はホームページへ掲載いたしますのでそちらをご覧ください。

◎新患はできるだけ紹介状（医療機関から発行される診療情報提供書）の持参をお願いしています。

◎新患で紹介状を持参されない場合、初診時の保険外併用療養費として、1,650円を負担していただいておりますのでご了承願います。

◎新患の予約およびお問い合わせは、患者サポートセンターまでご相談ください。

～扇田病院～

科名	曜日	月	火	水	木	金	備考
		受付時間 午前8:30～11:00 眼科のみ下記のとおり					
内科・外科		(夕やけ)		(夕やけ)		(夕やけ)	午後：急患のみ 夕やけ診療(月・水・金)：午後5:00～6:30 小学生以上のかた
整形外科		休診	休診	休診	休診		
耳鼻咽喉科		休診	休診	休診	休診		
眼科		午前10:00～12:00、午後1:00～2:00 ※原則第1、第3土曜日					詳細は扇田病院ホームページ または電話でご確認ください。

高校生病院見学会



●施設見学の様子(薬剤科)

令和2年2月2日、市内の高校1・2年生134人を対象に、病院見学会を開催しました。見学会では、秋田県と大館市からの寄附により開講している弘前大学大学院医学研究科大館・北秋田地域医療推進学講座の坂本義之准教授による模擬講義の後、希望職種ごとに分かれて施設見学と現場体験を行いました。参加者からは「普段見られない場所も見ることができた」「医療職を希望したいと再認識した」などの感想がありました。

今後も、医師、看護師など医療職の人材確保のため、見学会やセミナーを実施していきます。

食事と12 病気予防

腸内環境を整えよう!

“免疫力は腸にあり”と言われるのは腸に集結する免疫細胞を腸内細菌がコントロールしているから。腸内環境を整え、腸の働きを活発にすることで免疫力が高まります。

免疫力を高める献立

- ① 主食：雑穀入りご飯(玄米、もち麦、あわ、ひえなど雑穀は食物繊維が豊富)
- ② 汁物：ごぼうの牛乳みそ汁(発酵食品のみもとオリゴ糖を含むごぼう)
- ③ 主菜：たらのピーナッツソースかけ[ピーナッツバター・ぼん酢・ラー油](タンパク質、ビタミン類が多い冬の味覚たら)
- ④ 副菜：こんにゃくのおかか炒め[こんにゃく・しめじ・かつお節] ⑤ もずく酢の和え物[もずく酢・もやし]
- ⑥ いそべ和え[ほうれん草・焼きのり・のり佃煮]
- ⑦ なめたけおろし[大根おろし・なめたけ・刻みオクラ](食物繊維がたっぷり摂れる手軽な一品)
- ⑧ デザート：りんごの紅茶ゼリー(紅茶のポリフェノールの殺菌効果がインフルエンザ予防に効果あり)



食事のポイント

- 主食・主菜・副菜をそろえてバランスよく
- 食物繊維・発酵食品・オリゴ糖を積極的に摂ろう

編集後記

今春も8名の初期臨床研修医が大館市立総合病院臨床研修プログラムを修了しました。平成16年から新医師臨床研修制度が始まり、卒後1年目の医師は臨床研修病院を自分で選ぶことができるようになりました。当然研修医は多くの知識や技術を身につけることのできる体制の整った病院を選びますので、研修医に人気のある病院はよい病院であるとみなされています。当院も研修病院に登録した当初は県境ということなど不利な点があり、なかなか研修先を選んでもらえなかったのですが、いろいろ工夫した結果、ここ数年は研修を希望して面接にくる医学生も20名近くまで増えました。今年度7名の研修医を採用しました。これもひとえに市民の皆さんのご協力があったからこそだと思います。当院で研修を受けた医師が大学病院などの専門研修修了後に、大館に戻ってくることも増えてきていますので、これからも研修先を選んでもらえる大館市立総合病院であり続けたいと思っています。

(編集委員長 丹代 諭)